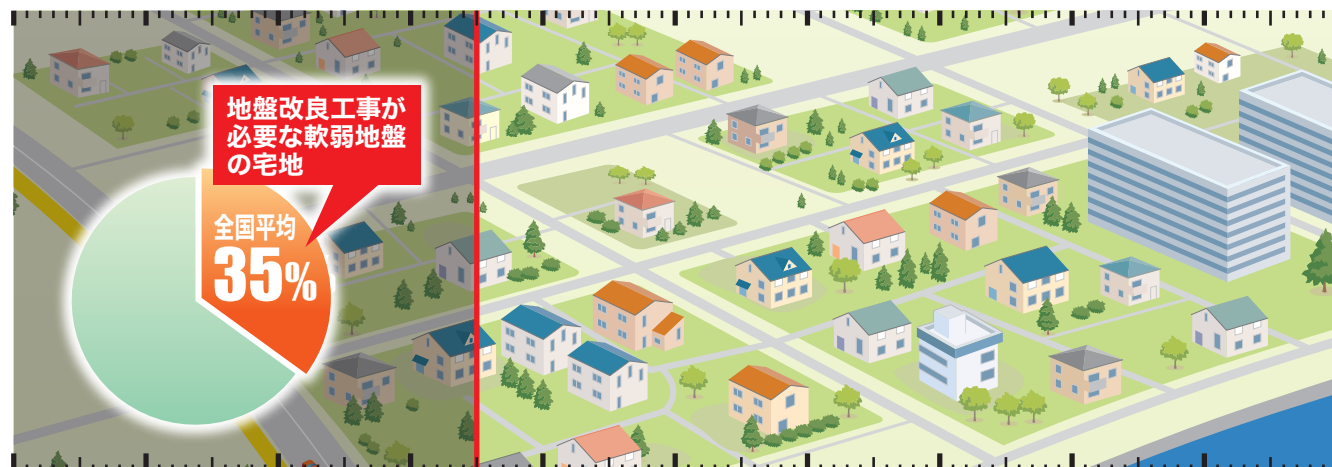


夢のマイホーム。でも、その地盤は家を十分に支えられる地盤ですか？

いくら頑丈な良い家を建てても、地盤の弱い土地に建ててしまえば、安心して暮らせません。家を建てるのが決まったら、地盤について知っておきたいいくつかのことがあります。

3軒に1軒の割合で地盤改良が必要な地盤に家が建っています。



あなたが家を建てる土地の地盤は大丈夫ですか？

新規造成地や山を切り出した土地、火山灰などが積もった土地の地盤に家を建てる場合は、適切な地盤の補強を行う必要があります。

… 改良工事が必要な住宅地盤の特長とは？ …



新潟市の住宅地盤事情は…

新潟・新発田地域は、昭和30年代には、年間最大沈下量が54cmにも及ぶ著しい地盤沈下が起りましたが、水溶性天然ガスの採取規制の実施などによって、昭和50年代以降は一部の地域を除いて全体的に沈静化してきています。25年度の調査の結果は、調査面積606.0km²のうち沈下面積は579.1km²でした。5年間の累計沈下量の最大値は新潟市北区松浜町の8.0cm（24年度：同市北区松浜町7.7cm）でした。平成6年度から8年度まで県が実施した「新潟地域地盤沈下機構解明調査」によると、新潟地域は、信濃川や阿賀野川などの大河川や内陸部の広大な農地を有し、しかも広範囲のゼロメートル地帯を有する地域であることから、地盤沈下対策を継続していく必要があります。

（新潟県ホームページより抜粋）



将来にわたって安心して暮らせる家づくりのために、地盤について知っておきたい3つのこと

1. 地盤の状態を知る

地盤調査 地中の様子を見える化する

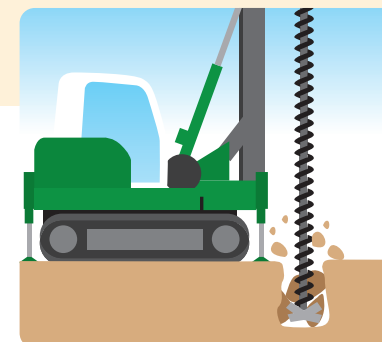
住宅建築に際して地盤の補強が必要かどうかを調べるための作業。ボーリング試験、レイリー波探査、スウェーデン式サウンディング試験などがあるが、住宅地の地盤調査としては費用効果的なスウェーデン式サウンディング(SS)試験が一般的です。現在は全自動式、半自動式、GPS情報付など進化しています。家を建てるにあたり、必ず行う必要があります。



2. 地盤に対策をする

地盤改良 いい家を建てるために地盤を安定化する

地盤調査を行い、不同沈下させないための補強工事を施すことを地盤改良といいます。地盤調査データを基に、補強が必要な地盤に対し人工的な改良を加えて、建物が将来にわたって傾かないように対策を行います。一生暮らす家だからこそ、地盤の状態に適した対策をする必要性があります。主な地盤改良工法としては、セメント系工法・鋼管杭工法など様々な工法があり、ほかにも地盤改良業者独自の工法などがあります。



3. 万が一に備える

地盤保証 安心して暮らすために補償を確認する

万全を期して行った工事が、思わぬ事故に見舞われることもあります。地盤が原因で住宅に損壊や傾きが出た場合、建物だけでなく地盤修復の責任も住宅会社にあります。もし事故が起こった場合の修復は、特殊な専門工事のため膨大な費用が発生してしまいますので、どこまで保証されているか確認しましょう。万が一の事故の際、費用負担を請け負える第三者機関による保証がされていることが重要です。



いい家を建てる地盤の重要性を知ったら、次は地盤改良の工法について考えてみましょう

地盤改良工法の選び方